

令和5年度社会教育委員の会第1回定例会会議録

- ◆開催日時：令和5年6月8日（木）午後7時～
- ◆開催場所：市役所3階 大会議室A・B
- ◆出席委員：依藤 孝、藤原咲子、鈴木恒男、藤井志帆、朝井恭子、高瀬裕子、東田優子、小西孝樹 各委員（8人）
- ◆出席職員：笹倉教育長、教育部高橋部長、生涯学習課長谷川課長、中央公民館古家館長、生活文化総合センター佐藤館長、図書館楠本館長、青少年センター小林所長、人権教育課伊藤課長、吉村主任、岩崎（10人）
- ◆傍聴の人数：0人
- ◆公開・非公開の別：公開

次 第

1 開会 事務局

2 市民憲章朗唱 事務局

3 あいさつ

笹倉教育長

平素は西脇市の教育行政、特に社会教育に関しまして、本当に深いご理解とご支援を賜りまして、改めてここでお礼を申し上げます。

今年は任期満了に伴い、笹倉京子委員が就任6年、阿江博美委員が就任5年、本市校長会の会長として就任いただきおりました前田正樹委員が就任1年で退任されております。今年度から、高瀬裕子委員、東田優子委員、校長会会長として新たに日野小学校校長の小西孝樹委員がご就任いただくことになりました。

これから事務局から事業の報告をさせていただきますので、忌憚のないご意見を賜りまして、本市の社会教育をより良い方向に進めて参りたいと思っております。

4 委嘱状交付 令和5年度委嘱委員10人

5 議事

(1) 議長・副議長の選出

依藤 孝議長、藤原咲子副議長就任

(2) 教育委員会事務局等の組織図と主な事務分掌等について
教育管理部高橋部長

(3) 社会教育関係課の令和5年度業務内容について

ア	生涯学習課	長谷川課長
イ	中央公民館	古家館長
ウ	生活文化総合センター	佐藤館長
エ	図書館	楠本館長
オ	青少年センター	小林所長
カ	人権教育課	伊藤課長

(4) 意見交換（質疑応答） **下記のとおり**

（A 委員）

中央公民館事業に以前、パソコン講座があったと思いますが、資料上記載がないため、なくなったのですか？

（事務局）

シニアカレッジではパソコン講座が5つほどありますが、公民館講座としては現状行っておりません。

（B 委員）

市内某学校の評議員として学校評価を目にすると、読書についてはかなり評価が低く、他は結構レベルが高い。学校によってそこまで差があるようには感じていません。

図書館の情報では、学校へ貸し出すなどの工夫もあり、貸し出し冊数もそれなりにあるようですが、子どもたちが活字に触れ合う時間が非常に少なくなっているのかなと感じています。

学校もそれぞれ努力をされているようですし、生涯学習なり社会教育の観点からも、何らかの形で進めていくことができないものかと常々思っています。あくまで感想としてそれが1点です。

それからもう1点は、総合市民センターの輪転機について、老朽化に伴う不具合が目立つため、改善してもらえたらという要望です。

（事務局）

読書については、西脇市では読解力の向上に向けて、先生方も力を入れて取り組んでおられますが、なかなか一朝一夕にはいか

ないことだと思っています。学校の図書室を目にすると、あまり十分に整備されておらず、西脇市だけで環境を整えるというのは予算的にも難しいところがあるかなと思います。また、家庭での読書環境も重要だと考えています。

輪転機については、本日業者が点検を行い、少し改善されつつあります。引き続き改善を図ってまいります。

（教育長）

読書力に関して、先日も某新聞に、学校図書の実態に向けて国が交付税を出しているにも関わらず、6割弱しか機能していないとの記事が出ていました。どこの市町も読書については優先順位が低いように感じています。西脇市もできるだけ学校図書の更新に向けて予算措置を行っていますが、大きな図書室になると、背表紙が剥げていたり、なかなか更新できていないのが実状。今後より一層ICT教育を進めると、活字離れが進んでいかないか危機感を感じています。文字に親しませる教育というのはやはり重要になると考えており、小中学生を対象としたリーディングスキルテストなどを通じて、読解力の把握と向上に努めていきたいと思っています。

（C委員）

学校全体で朝に読書をするなどのそういう取組みはされておられるのでしょうか？

（D委員）

学校によって取組みは違いますが、どこの学校も読書は大切だと考えています。朝の時間に読書をしている学校もあれば、国語や算数の基礎学力を定着する時間に充てたり、様々な取組みがあります。一例として、自席の背もたれにブックポケットを設けて、空き時間に読書ができるよう本を入れておく、地域の読み聞かせグループに月1回ずつ放課後と休み時間に来てもらい、読み聞かせをしていただくなどの取組みがあります。さらに、図書館の団体貸出を活用し、教室で子どもがある程度自由に本を取って読める環境づくりなどにも取り組んでいます。

（E委員）

2点質問ですが、中央公民館のその他事業「自主活動グループの育成」とは具体的にどういった内容でしょうか？

もう1点は、青少年センター事業「青少年問題協議会」とはど

んな方がどんな話をされているのでしょうか？

(事務局)

「自主活動グループの育成」については、公民館で自主的に活動したいグループに対し相談助言を行うほか、自主運営講座に登録いただき、会場調整や広報PR等の支援を行っています。

「青少年問題協議会」については、会長を市長、副会長を教育長が務め、警察や区長会長、連合PTA会長、老人会長などの関係機関の長で構成しており、青少年の問題や課題を解決する会議を行っております。令和3年度ではインターネット依存、ゲーム障害などの啓発パンフレットの作成に取り組みました。

(F委員)

学校部活動の地域連携はどこまで進んでいるのでしょうか？どうの方が参加してくださるか、学校内外いずれで行われるのか、どの時間帯で行われるのか、現状頻度で活動できるのかなど、果たして地域連携が可能なのか不安を感じています。

(事務局)

現状、実際に地域に移行したクラブはまだございません。学校側としてどんなクラブが地域移行できるのか、受け手側がどんな方が受けてくださるのか、そういったところを把握しようとしているところです。大きな変化になりますので、国は3年を目安に移行を推進しておりますが、西脇市は5年を目標に取り組んでいきたいと考えております。

(教育長)

地域移行については、体育会系と文化系をセットで論じていく必要があります。全国的にもなかなか進んでいないのが現状で、報道されている案件はごく一握り。受け手として民間団体に任せすることも可能ですが、町の中で全部それができるといって難しい。5年目標でも難しい状況です。学校部活動は文化としてこれまでやってきて、プロスポーツを支える一番基礎にあたるものと考えています。80年近くやってきたことを、一気に変えるということではなく、じっくり考えてやっていきたい。組織のつくり方、人選、実施形態、学校との交渉、平日実施要否、責任の明確化、指導者手当、練習会場など課題を積み上げていながら模索しています。文化団体も数多くありますが、高齢化が進む中、部活を引き受けてくれるかということ簡単ではないと思います。

(G 委員)

慎重に考えておられ、簡単には変わらないというのがわかり少し安心しました。部活動はスポーツや芸術を教えてもらうだけではなく、特に中学生は多感な時期なので、先生たちとの連携がなければ、任せるのは不安。もし委託する場合でも、その場に先生がいてほしいという保護者はかなり多いように思います。

場所に関しても、部活動は学校単位が本当は一番かなと思っています。子どもが少なくなつて、部もどんどん減っていき、他の学校と合併する部も出てきている。活動場所への行き来が生じると、子どもたちと保護者の負担はかなり大きい。

(教育長)

学校の働き方改革という観点で部活動地域移行が推進されています。ただし、部活動を通じた成長や人格形成といった効果も踏まえつつ、保護者や子どもたちのニーズも十分に考慮しながら、みんなが満足できる方法を探していく必要があると感じています。

(A 委員)

10年間で社会環境が大きく変わり、学校現場は特に変わっています。今まで通りの部活指導では、一方で先生の超過勤務の問題もあり、非常に難しい問題だと思います。

(H 委員)

社会教育関係事業として、大変多くの事業をされておられますが、就学前のお子さんや保護者に向けての内容が含まれていないことに少し疑問を感じました。以前、子育て学習センターが中央公民館に属していましたが、現在はミライエのこどもプラザに配置転換されています。そこで両親教育インストラクターが地域の保護者に向けて、子育てを楽しみながら力をつけていただく取組みがあると思いますが、位置付けとしては、社会教育から離れているように感じました。

(事務局)

中央公民館から離れてミライエに移ったとのことですが、当時の経緯は存じませんが、就学前の子どもも含めて、社会教育がどうあるべきか今後の課題として考えてまいりたいと思います。

(D 委員)

西脇市人権教育研究大会について、現状では各分科会の発表の多くを学校が担っています。学校の取組み発表に対し、他の学校が質問する場となっており、市民の学びの場から外れているように感じています。今年度の西脇市人権教育協議会の総会は済んでおりますので、来年度以降少しでも、市民の方が参加できる分科会の運営を考えていけたらと思います。

（事務局）

教員の方々に発表していただくことが長年続いていると聞いております。他にも企業内部会や、地域の方、PTAの方に発表していただく分科会もありますが、色んなご意見を伺いながら、改善検討してまいりたいと思いますので、よろしくをお願いします。

（C委員）

生活文化総合センターの市民ギャラリーで催される展覧会などを広報誌へ掲載してほしい。ホームページには掲載されていますが、広報誌も活用し、積極的な広報活動をお願いします。それにより、主催側と参加側の双方プラスになると思います。併せて、同センターの郷土作家ギャラリーで西脇市美術協会が行っている年間展示についても、広報をお願いします。

（事務局）

どんな展示が行われているか、十分な周知に至っていない状況とのことですので、周知に向けて検討させていただきます。

(5) 事務報告 **事務局**

令和5年度社会教育委員に関する会議（兵庫県／東・北播磨地区）について

6 閉会 **藤原副議長**